

2019年度 交流及び共同学習活動実践

～生徒が主体的に取り組む交流及び共同学習の在り方について～

兵庫県立洲本高等学校
兵庫県立あわじ特別支援学校

洲本高等学校

親自
和治



勤
勉
至
誠

あわじ特別支援学校



2019年度の取り組み

<交流>

- ・洲本高校文化祭展示見学 (洲本高校)
- ・洲本高校体育会見学 (洲本高校)
- ・あわじ特別支援学校体育祭見学 (あわじ特別支援学校)
- ・洲本高校フードデザイン昼食交流 (洲本高校)

2019年度の取り組み

<交流及び共同学習(2回)>

- ・書道・美術・フードデザイン (洲本高校)

2019年度 第1回目(6/27)

書道 「うちわ製作」

美術 「プラバン製作」

フードデザイン

「お菓子づくり(スノーボールクッキー)」

2019年度 第2回目(11/21)

書道 「大喜利」

美術 「カモ、キジのはく製を描く」

フードデザイン

「マカロニグラタン、ミネストローネ」

2019年度 年間予定

5月 洲本高校吹奏楽部との交流(あわじ特別支援学校)

6月 文化祭見学交流
書道、美術、フードデザインにおける共同学習

11月 書道、美術、フードデザインにおける共同学習

12月 書道部、ミュージックダンス部との交流

2月 進路学習(福祉・教育系進路希望者による授業見学)

交流及び共同学習のメリット

<特別支援学校>

- ・同年齢集団とのコミュニケーション経験が増え、親しい者のいない環境で話をするためのスキルを磨くことができる
- ・難しいことに挑戦してみようとし、支援学校では実施困難な経験ができるため、子どもたち同士の教え合いや個々のスキルの向上が見られる
- ・同年代の高校生に教えてもらう方が集中して取り組める
- ・自分たちの障害特性を認めてもらいつつ、学習に取り組むことができる → 自分自身が尊重され、自尊心を高めることにつながる
- ・他者に対する信頼感につながり、人間関係を広く構築するための礎となる

交流及び共同学習のメリット

<洲本高校>

- ・教え合い、学び合うことで主体的に授業に取り組むことができる
- ・障害に対する理解が深まる
- ・コミュニケーション力の向上につながる
- ・共に尊重し、協働して生活していく力につながる
- ・他者の内面理解につながる

洲高文化祭案内の様子



進路学習

(教育・福祉系進学希望者の授業見学)



第1回交流及び共同学習 ～フードデザイン～



第2回交流及び共同学習 ～フードデザイン～



第2回交流及び共同学習 ～書道～



書道

～大喜利～



感想

- 互いに緊張しながらもよい作品を作ることができて良かった
- お互いに良い点を話し合うことで、いい刺激もらった
- 実習を始めた時は、緊張して会話も弾まなかったけど、一緒に作業するうちに色々な話ができて、仲よくなれてとても楽しかった
- 自主的に行動してくれて助けられた
- 多くの会話をすることで楽しく、笑顔の多い時間でした
- こんな機会はなかなかなく、一緒に作業できて貴重な時間だった
- もっと交流して、たくさん話ができたらいと思う

成果

- 交流に参加した洲本高校生の進路が明確になった
- コミュニケーションの促進につながった
- 互いの考えや性格などを知ることができた
- 少人数での交流及び共同学習のため、両校の生徒ともあたたかな雰囲気での交流ができた

課題

- ・参加を希望しない生徒がいる(中学校の同級生がいるため、支援学校に行っていることを知られたくない)
- ・学校行事、他校との交流、時間割等で日程や時間調整が難しい
- ・年度当初にあらかじめ日程を決めておき、双方にとって充実した内容を検討する
- ・授業担当者と引率教員との打ち合わせを念入りしておく
- ・全校生徒に広がるような活動にする

全体を通して

- ・障害がある生徒に対する高校生の理解が深まる
- ・特別支援学校生徒の体験の幅が広がり、活動意欲、学習意欲につながる
- ・学校間、職員間のネットワークが広がる
- ・高校教職員の特別支援教育に対する意欲、関心が高まる



淡路地区全体の特別支援教育の理解・啓発につながりつつある

今後の見通し

- ・高等学校現場での特別支援教育に対する意識をさらに高めていく
- ・特別支援学校のセンター的機能を高め、組織的な専門的力量の向上を図る
- ・交流及び共同学習の実施時期の調整やプログラム内容の検討を図る
- ・洲本高校定時制とあわじ特別支援学校とが交流する機会を前向きに検討する



淡路地区ならではの強みを活かし、共生社会の実現を目指して、連携強化を図る

2020年度の取り組み状況

- ・2019年度末からのコロナウイルス感染症対策のため、今年度の交流及び共同学習の実施を見送っている状況である。
- ・2020年度当初は、昨年度同様の実施計画を立てていたが、大幅に修正・変更を強いられている。
- ・交流及び共同学習に関して、書道と美術で各1回実施予定。
※フードデザインが実施されないため。